

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	言語聴覚障害概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 水曜3限・木曜3限	教室名	4校舎401
担 当 教 員	本田・酒井・丸山・小川・矢部	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
さまざまな言語聴覚障害の特徴や発生メカニズム, 評価や診断法, リハビリテーションを知り, 言語聴覚士の業務を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(筆記)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準言語聴覚障害学「言語聴覚障害学概論」 適宜プリント配布						
《授業外における学習方法》						
随時、授業の最初に前回授業内容に係わる確認問題を実施するので、復習しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
言語聴覚士になるための第一歩となる科目です。興味、関心をもって、これから学ぶ土台作りをしてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚士の仕事を理解する。	教材、 配布資料、 スライド	事前学習として該当頁 を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	言語聴覚士が行う評価、診断、訓練について概観する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	音声障害の概要を説明できる。	教材、 配布資料、 スライド	事前学習として該当頁 を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	音声障害の定義と分類について学ぶ。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	構音障害の概要を説明できる。	教材、 配布資料、 スライド	事前学習として該当頁 を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	構音障害の定義と分類について学ぶ。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語発達障害 学習障害, 自閉症, SLI等を説明することができる。	教材、 配布資料、 スライド	事前学習として該当頁 を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	言語発達障害 学習障害, 自閉症, SLI等について学ぶ。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語発達障害 学習障害, 自閉症, SLI等を説明することができる。	教材、 配布資料、 スライド	事前学習として該当頁 を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	言語発達障害 学習障害, 自閉症, SLI等について学ぶ。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	母子健康手帳から学ぶ人の成長と発達を説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	母子健康手帳とは：出産までの母児の健康状態と成長、出産時の大切な事項、出産後の成長状況について学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	定型発達乳幼児の発達を説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	0歳児の発達の様子について学ぶ(運動・感覚・人への関心など)。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	定型発達乳幼児の発達を説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	1歳児・2歳児の発達の様子について学ぶ(運動・感覚・人との相互作用など)。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	前言語期の重要性を説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	前言語期の果たす役割, 対人的コミュニケーション, 象徴機能の出現, ことばの理解, 発声行動の発達について学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	ことばの理解の重要性を説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	CDS, 母親の果たす役割, 相手の意図を知る子ども自身の能力について学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ことばの発達, 発話を説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	初語, 語彙の発達, 幼児期の言語の特徴について学ぶ。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚と運動の発達とことばを説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	ことばのもつ役割, ことばの発達をささえる力, ことばの発達臨床について学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚と運動の発達とことばを説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	初期段階のこどもの状態像, 知恵を高める, 運動の協調性を育てるについて学ぶ。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚士の業務, 言語聴覚領域の歩みを説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	言語聴覚士の業務, 活躍する場, 言語聴覚領域がたどってきた道について学ぶ。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食・嚥下のメカニズムを説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下に関わる器官, メカニズム, 年齢的变化について学ぶ。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	中間テストを通して現在の実力を認識することができる。		事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	中間テストを実施する。		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	吃音を説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	吃音について学ぶ。		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	失語症を説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	言語野, 言語症状について学ぶ。		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	失語症を説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	古典型失語症候群について学ぶ。		
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	失語症例を観察する。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	実際の失語症患者を見て勉強する。		
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害の背景にある症状を説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	意識障害, 注意障害について学ぶ。		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	失行, 失認を説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	失行, 失認の種類と症状について学ぶ。		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	記憶障害を説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	記憶障害の種類と症状について学ぶ。		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害のコミュニケーション方法を知る。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	聴覚障害の事例、医療機関で使う手話表現について学ぶ。		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚器の基礎を説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	外耳, 中耳, 内耳, 聴覚伝導路の機能について学ぶ。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害の種類, 原因, 評価・訓練を説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	聴覚障害の種類, 原因, 評価・訓練, コミュニケーションモード, 新生児スクリーニング検査について学ぶ。		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚士に必要な対人スキルを身につけることができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	言語聴覚士としてのマナーや身だしなみについて学ぶ。		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚士に必要な対人スキルを身につけることができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションのとり方について学ぶ。		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	自由会話を円滑に行うことができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	健常者を相手に自由会話を練習する。		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	自由会話を円滑に行うことができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	健常者を相手に自由会話を練習する。		
第31回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第32回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第33回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第34回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第35回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			